

令和2年度 第2回学校自己評価表(教職員対象)

学校運営全般について、次の基準で評価してください。また、成果と課題、改善の方策について、記述願います。

評価基準【 4:十分である、 3:おおむね十分である、 2:やや不十分である、 1:改善を要する 】

昨年度と概ね同様の評価であった。昨年度より0.2以上評価が上がった項目は15項目ある。しかし、2-④は先生方で評価が大きく分かれている項目でもある。また昨年度より0.2以上評価が下がった項目は10項目であった。3-③は評価が大きく分かれている項目でもある。評価が3.0未満の項目は「学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める」、「家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める」、「ルール必要性を理解させ、人としての在り方・生き方を考えさせる指導に努める」、「資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める」、「社会に通用する力を持つ生徒」の5項目である。各分掌で組織的に取り組む中での修正が必要であるとする。今回の評価を踏まえ本校が抱える課題を十分精査し、取り組む必要があると考える。

項目	平均	R2.1	元2	評価点平均
1 学校教育目標(一人一人を大切に、豊かな心の育成をめざす)				R2.2 3.2
① 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心	3.0	3.1	3.2	R2 1 3.3
② 誠実に協力し合い、人を思いやる心	3.4	3.4	3.2	元 2 3.1
③ 心身を鍛え、健康・安全に努める心	3.2	3.1	3.2	
④ 地域文化と自然を愛する心	3.2	3.5	2.9	
2 学校経営方針				R2.2 3.4
① 自他の生命を尊重し、確かな学力を育む教育活動の推進	3.2	3.0	3.1	R2 1 3.2
② 信頼される学校を目指し、家庭や地域、関係機関等と密なる連携	3.4	3.2	3.3	元 2 3.2
③ 教職員の共通理解と実践で、いじめのない安全・安心な学校づくり	3.5	3.2	3.4	
④ 特別支援教育の理解を深め、個に応じた教育の推進	3.5	3.2	2.8	
⑤ 学校経営に参画する視点から、服務規律の厳守や、業務の適正化を行なう教職員集団の構築	3.3	3.3	3.3	
3 学習指導				R2.2 3.0
① 学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める	2.9	3.2	2.8	R2 1 3.1
② 体験的な学習や個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びを体得させる指導に努める	3.3	3.2	3.4	元 2 3.1
③ 学習意欲を引き出すためのシラバスづくりや、学習形態の工夫・改善に努める	3.0	3.3	3.2	
④ 家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める	2.7	2.8	2.9	
4 生徒指導				R2.2 3.2
① 心のふれあいを重視し、人間関係を基調とする指導に努める	3.3	3.4	3.5	R2 1 3.2
② ルールの必要性を理解させ、人としての在り方・生き方を考えさせる指導に努める	2.9	3.1	3.6	元 2 3.4
③ 生徒、保護者との連携を密にし、指導体制の充実に努める	3.3	3.2	3.0	
④ 情報を共有し合う態勢を整え、事故などの未然防止に努める	3.4	3.0	3.4	
5 進路指導				R2.2 3.1
① 各種行事をとおして望ましい勤労観・職業観の育成に努める	3.2	3.1	3.5	R2 1 3.1
② 生徒理解に努め、個に応じた進路指導の実践に努める	3.3	3.3	3.2	元 2 3.2
③ 資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める	2.9	2.9	3.1	
④ 内外の各機関との連携を密にし、進路実現に向けた支援体制の充実に努める	3.0	3.0	3.0	
6 健康安全指導				R2.2 3.4
① 健康相談等をとおして、自ら進んで健康管理できる能力、実践力の育成に努める	3.3	3.2	2.7	R2 1 3.2
② 関係諸機関と連携を図り、計画的・効果的な保健指導や体力づくりの実践に努める	3.4	3.2	3.2	元 2 3.1
③ 全教育活動をとおして、自他の生命を尊重し、健康安全に係る意識を高め、事故防止に努める	3.4	3.2	3.2	
④ 清掃や奉仕活動等をとおして、学習環境整備、地域美化意識の育成に努める	3.3	3.2	3.2	
7 事務部運営				R2.2 3.3
① 各分掌、学年、委員会との連携を図り、教育活動を支援する	3.3	3.1	3.2	R2 1 3.2
② 常に創意・工夫した事務改善を行い、学校事務の効率化を図る	3.4	3.3	2.8	元 2 2.9
③ 適切な予算編成と計画的に予算を執行する	3.2	3.3	2.8	
④ 施設・設備の整備充実に努め、よりよい教育環境の実現をめざす	3.1	3.2	2.8	
8 遠隔授業				R2.2 3.2
① 個に応じた指導の充実(受信側教員の評価方法の充実)に努める	3.1	3.1	3.4	R2 1 3.2
② 学習の選択幅の拡大(他教科への導入の研鑽)に努める	3.2	3.0	3.4	元 2 3.4
③ 指導力の向上に努める	3.3	3.1	3.3	
④ 教員の資質向上に努める	3.2	3.4	3.3	
9 丹頂プラン(の推進・実現状況)				
<目指す学校像>				R2.2 3.1
① 学ぶ喜びのある 学校(社会に適用する力)	3.0	2.9	3.4	R2 1 3.2
② 仲間と成長できる 学校(コミュニケーション力)	3.1	3.1	3.6	元 2 3.5
③ 安心した生活ができる 学校(落ち着いた学習環境)	3.0	3.3	3.3	
④ 地域から信頼される 学校(地域と共に発展)	3.4	3.4	3.5	
<目指す生徒像>				R2.2 3.2
① 当たり前の実践ができる 生徒(挨拶やマナー)	3.4	3.2	3.3	R2 1 3.1
② 社会に通用する力を持つ 生徒(基礎基本の学力)	2.7	2.9	2.7	元 2 3.1
③ 自立精神と積極性を持つ 生徒(進路実現)	3.2	3.2	3.0	
④ 地域への貢献ができる 生徒(地域の文化や自然)	3.5	3.2	3.3	
<目指す教師像> 教師が成長し、生徒の可能性を伸ばす				R2.2 3.5
① 生徒を愛し共に伸びる 教師(愛情)	3.5	3.3	3.2	R2 1 3.3
② 目標達成に向け邁進する 教師(実践)	3.4	3.3	3.1	元 2 3.1
③ 保護者や地域から愛される 教師(信頼)	3.5	3.3	3.1	